

奈良時代 暗記編

使い方 自信を持って正解できた問題は(1)のように問題番号に斜線を引き。問題文から消して行ってください。間違えた問題も確信して答えられるようになると斜線を引き。全ての問題に斜線が引ければクリアーです。

- (1) 710年、奈良の（ ）に都を移す。
- (2) 稲の収穫の3%を納める税を（ ）と言う。
- (3) 地方の特産物を納める税を（ ）と言う。
- (4) 労役の代わりに布を納める税を（ ）と言う。
- (5) 開墾した土地を三代に渡って所有を認める法を何という。
- (6) 743年、開墾した土地の永久所有を認めた方を何という。
- (7) 貴族や寺社の私有地を（ ）と呼ぶ。
- (8) 聖武天皇の時代の仏教文化を（ ）と呼ぶ。
- (9) 聖武天皇は東大寺の（ ）にコレクターグッズを保管した。
- (10) 東大寺の建設には僧である（ ）が協力した。
- (11) 唐より招かれた鑑真は都に（ ）を建てた。
- (12) 聖武天皇は国ごとに（ ）と国分尼寺を建てた。
- (13) 天皇の正当性を唱えた書物は（ ）と古事記である。
- (14) 地方の伝承や特産物を書いた書物は（ ）である。
- (15) 大伴家持がまとめた日本最古の歌集を（ ）と呼ぶ。

(1)	平城京
(2)	租
(3)	調
(4)	庸
(5)	三世一身法
(6)	墾田永年私財法
(7)	荘園
(8)	天平文化
(9)	正倉院
(10)	行基
(11)	唐招提寺
(12)	国分寺
(13)	日本書紀
(14)	風土記
(15)	万葉集

(ふーぎの雑談) 仏像をこよなく愛し。仏像にこよなく愛された男。その名は、聖、武、天、皇。つてな感じで有名な聖武天皇ですが。やっていることはただの散財ではないかと言われています。東大寺の建設に国民の半数が関与したとまで言われており。ただでさえ租、調、庸と呼ばれる税負担が重い中。東大寺や大仏の費用、労務負担を国民に押しつけていました。また、度々、都を造り、移していましたが。この造営費や遷都費も当然、臨時税として国民に負担がのし掛かります。この臨時税を徴収する官僚もいますが。懐を満たすために税を過剰に要求することもあり、奈良時代の民衆はとんでもないほどの税負担を負ってたのです。光あるところには闇もあるのですよ。